



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <https://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,178	6.3	93	△19.3	120	△8.0	82	△27.2
2022年3月期第2四半期	1,108	42.2	115	—	130	—	113	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 94百万円 (△15.2%) 2022年3月期第2四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	60.11	—
2022年3月期第2四半期	82.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,379	3,251	74.2
2022年3月期	4,647	3,273	70.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,251百万円 2022年3月期 3,273百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	△1.8	200	△35.8	213	△39.3	160	△53.0	116.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	1,393,459株	2022年3月期	1,393,459株
2023年3月期2Q	25,130株	2022年3月期	25,081株
2023年3月期2Q	1,368,368株	2022年3月期2Q	1,368,565株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 2023年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大が懸念されたものの、ワクチン接種の進展や重症化率の低下等により行動制限が徐々に緩和され経済活動も活気を取り戻しつつありましたが、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安の影響により、燃料費や原材料価格の高騰による値上げラッシュが家計を直撃するなど、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

当業界におきましては、設備投資関連は増加傾向で推移いたしました。電子部品や半導体の調達難により、一部のメーカーでは生産調整の継続を余儀なくされるなど、依然として厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、ウェビナー（WEBセミナー）の継続開催や、ホームページの拡充、SNSによる動画配信、再開された展示会や学会等への出展を積極的に行うとともに、既存顧客への深耕営業に注力することにより受注獲得に努めました。生産におきましては、主要原材料である電子部品や半導体の調達難に伴い、一部の製品では生産性の悪化や納期遅延が発生するなど、引き続き厳しい状況下で推移いたしました。

以上の結果、売上高は11億78百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は93百万円（前年同四半期比19.3%減）、経常利益は1億20百万円（前年同四半期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

## （X線残留応力測定装置関連）

新規顧客獲得に向けて、関連する展示会や学会等には積極的に出展するとともに、SNSを活用した営業活動につきましても一層注力いたしました結果、売上高は2億87百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益は83百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

## （ヘルスケア装置関連）

新たな受託開発の引合い増加に加え、リピート製品の受注も堅調に推移いたしました。電子部品や半導体の入荷遅れによる生産工程の変更や生産調整、調達部材の価格急騰や工数超過による不採算案件の発生等により原価率が悪化したことから、売上高は5億56百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は47百万円（前年同四半期比52.6%減）となりました。

## （光応用・特殊機器装置関連）

個別案件の引合いは引き続き好調を維持するとともに、高付加価値で利益率の高い案件が比較的多かったことから、売上高は3億34百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は1億2百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて2億68百万円減少し、43億79百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億27百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて2億45百万円減少し、11億28百万円となりました。これは主に、未払法人税等が82百万円、賞与引当金が47百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて22百万円減少し、32億51百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて3億27百万円減少し、18億84百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、1億90百万円となりました。主な減少要因は、売上債権の増加98百万円、賞与引当金の減少47百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、19百万円となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出19百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億30百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払額1億14百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,212,632	1,884,904
受取手形、売掛金及び契約資産	681,375	780,761
仕掛品	421,870	379,848
原材料及び貯蔵品	168,750	209,215
その他	13,169	13,737
流動資産合計	3,497,798	3,268,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	246,786	247,170
その他(純額)	289,963	280,247
有形固定資産合計	536,750	527,417
無形固定資産	22,707	18,114
投資その他の資産	590,625	565,816
固定資産合計	1,150,083	1,111,348
資産合計	4,647,882	4,379,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,629	81,838
電子記録債務	234,202	202,065
1年内返済予定の長期借入金	37,340	46,076
未払法人税等	94,694	11,858
賞与引当金	118,428	70,853
その他	226,035	135,439
流動負債合計	774,329	548,131
固定負債		
長期借入金	137,360	112,656
退職給付に係る負債	462,573	467,544
固定負債合計	599,933	580,200
負債合計	1,374,263	1,128,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	1,009,875	975,818
自己株式	△166,210	△166,286
株主資本合計	3,264,836	3,230,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,968	3,305
為替換算調整勘定	5,814	17,476
その他の包括利益累計額合計	8,782	20,782
純資産合計	3,273,619	3,251,484
負債純資産合計	4,647,882	4,379,816

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,108,350	1,178,700
売上原価	720,310	784,662
売上総利益	388,039	394,037
販売費及び一般管理費	272,063	300,494
営業利益	115,976	93,543
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,692	2,247
為替差益	3,688	13,771
売電収入	6,532	6,677
助成金収入	3,868	6,373
貸倒引当金戻入額	1,000	-
その他	1,613	1,179
営業外収益合計	18,395	30,248
営業外費用		
支払利息	258	195
売電費用	3,563	3,512
営業外費用合計	3,821	3,707
経常利益	130,549	120,084
特別損失		
固定資産除却損	0	767
特別損失合計	0	767
税金等調整前四半期純利益	130,549	119,316
法人税等	17,496	37,061
四半期純利益	113,052	82,254
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,052	82,254

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	113,052	82,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,449	337
為替換算調整勘定	580	11,661
その他の包括利益合計	△1,869	11,999
四半期包括利益	111,183	94,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,183	94,254
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	130,549	119,316
減価償却費	34,699	28,522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	-
受取利息及び受取配当金	△1,692	△2,247
支払利息	258	195
為替差損益 (△は益)	△3,464	△13,467
有形固定資産除却損	0	767
売上債権の増減額 (△は増加)	74,550	△98,990
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,151	1,830
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,498	△13,929
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,844	△47,744
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,077	4,971
その他	30,227	△93,132
小計	293,702	△113,909
利息及び配当金の受取額	1,736	2,140
利息の支払額	△360	△274
法人税等の支払額	△338	△78,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,740	△190,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,904	△19,292
その他	101	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,803	△19,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,160	△15,968
自己株式の取得による支出	△73	△76
配当金の支払額	△61,199	△114,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,433	△130,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,251	12,668
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	194,755	△327,727
現金及び現金同等物の期首残高	1,675,979	2,212,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,870,735	1,884,904

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	256,838	530,062	254,587	1,041,488
一定の期間にわたり移転されるサービス	—	—	66,861	66,861
顧客との契約から生じる収益	256,838	530,062	321,449	1,108,350
外部顧客への売上高	256,838	530,062	321,449	1,108,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	256,838	530,062	321,449	1,108,350
セグメント利益	78,257	100,401	83,821	262,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,480
全社費用(注)	△142,455
棚卸資産の調整額	△4,049
四半期連結損益計算書の営業利益	115,976

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	287,754	551,455	247,074	1,086,284
一定の期間にわたり移転されるサービス	—	4,800	87,615	92,415
顧客との契約から生じる収益	287,754	556,255	334,690	1,178,700
外部顧客への売上高	287,754	556,255	334,690	1,178,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	287,754	556,255	334,690	1,178,700
セグメント利益	83,816	47,595	102,744	234,155

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	234,155
全社費用（注）	△142,343
棚卸資産の調整額	1,731
四半期連結損益計算書の営業利益	93,543

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

（1）生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
X線残留応力測定装置関連	331,558	157.1
ヘルスケア装置関連	395,719	61.8
光応用・特殊機器装置関連	332,183	112.7
合計	1,059,461	92.4

（2）受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
X線残留応力測定装置関連	355,707	90.6	133,653	60.0
ヘルスケア装置関連	652,425	58.0	1,442,038	86.3
光応用・特殊機器装置関連	531,198	153.8	431,899	130.5
合計	1,539,331	82.7	2,007,591	90.3

（3）販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
X線残留応力測定装置関連	287,754	112.0
ヘルスケア装置関連	556,255	104.9
光応用・特殊機器装置関連	334,690	104.1
合計	1,178,700	106.3

（注）主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	
	販売高（千円）	割合（%）	販売高（千円）	割合（%）
ミナリスメディカル株式会社	—	—	226,128	19.2
株式会社日立ハイテク	134,587	12.1	177,662	15.1
東洋紡株式会社	349,056	31.5	121,350	10.3